



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第41号
令和4年 2月15日

イマージョン学習

～外国語を学ぶのではなく、外国語で学ぶ～



2年生 担任とCTAによるチームティーチング

「イマージョン」はimmerse（浸すこと）から来ており、イマージョン学習は、文字通り子供たちを外国語にたっぷり浸らせながら、その言語の習得を目指すバイリンガル教育の手法の一つです。外国語をただ単に学ぶことを目的とするのではなく、その言語を図工や国語など様々な教科を学習するための「手段」として用いているのが大きな特徴となっています。

本校が目指す英語学習の最終的なゴールは、ユネスコスクールとして行う6年生の国際交流学習です。英語を「手段」として活用し、外国の学校と国際交流を図っています。昨年度までは、エチオピア、アゼルバイジャン、ギリシャと国際交流を行い、今年度は、台湾、そして韓国と行いました。

今回、2年生と3年生は、イマージョン学習で図工を行いました。45分間、指導者が発する言葉は原則英語となります。一つの単元を全て英語で行うので、学習内容によって扱う時間が違ってきます。例えば、今回行った3年生は、6時間扱いの1時間目となります。子供たちは、英語を耳で聞き、その様子を目で確かめ、どんな活動をすればよいのか理解していく必要があります。

【2年生のイマージョン学習】 教科：図工科「ぼかしあそび」（1時間目/2時間扱い）

45分間の学習の流れは、次のようになります。

1. 英語で歌を歌ったり、フラッシュカードを使ったりしながら、これまで学習してきた「フルーツ」や「カラー」の復習をします。(10分)
2. 子供たちにイメージをつかめさせるために「ぼかし絵」を実際に描きながら、今日の学習のめあてを確認します。(5分)
3. クレヨンや色鉛筆を使って自分の好きなフルーツの絵を描きます。描いた絵でぼかしたい部分をティッシュペーパーや指などを使ってこすり、色をぼかしていきます。(25分)
4. 次の学習のめあて(作品の発表会)の確認と後片付けを行います。(5分)



2年生「ぼかしあそび」

【3年生のイメージ学習】教科：図工科「ラ・ラ・ランチ」（1時間目/6時間扱い）

La La Lunch(ラ・ラ・ランチ)の学習は、次のような学習計画で行われていきます。

1時間目：自分だけのランチボックスを計画する。

2時間目：自分が使う食材やおかずの特徴にあった紙(ボール紙、段ボール、ティッシュなど)を選び、イメージをふくらませる。

3時間目～5時間目

：食材やおかずの特徴にあった紙を切り貼りして、自分だけのランチボックスを作る。

6時間目：リスナーとスピーカーに分かれ、互いの作品を紹介し合う。

< 1時間目の学習計画 > ※紙面の都合で一部だけの紹介となります。

時間	学習内容	児童の反応・留意点
5	<p>1. Greeting (あいさつ)</p> <p>T : Good morning (afternoon)!</p> <p>① How are you? I' m OO~. Thank you.</p> <p>② How is the weather today?</p> <p>③ What day is it today?</p> <p>④ What' s the date today?</p> <p>2. Check today' s goal (めあて)</p> <p>T : What lunch do you like the best?</p> <p>Today, you will plan your original lunch box. (お手本の設計図を見せる)</p> <p>So, today' s goal is...</p>	<p>① I' m OO~. And you?</p> <p>② It' s sunny (rain or cloudy)</p> <p>③ It' s OObay.</p> <p>④ It' s Month Date.</p> <p>「カレー！」 「きなこあげぱん！」 O困った顔をしていたら、お手本を使い、少しだけ日本語で補助する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Let' s plan our original lunch boxes! 自分だけのランチボックスを計画しよう！</p> </div>		
5	<p>T : Who is present for? Why is present for OO?</p> <p>T : Write down your hope on design plan.</p>	<p>「家族！」「友達！」「ペット！」 「いつもわたしたちのために頑張ってくれているから」 など</p>



担任とALTによるGreeting 場面



ランチボックスの計画を立てている場面

子供たちは、指導者の話す英語をすべて理解できているわけではありません。しかし、指導者のジェスチャを交えながら、実際に描いたり、作ったりすることにより、子供たちは何をすればいいのかを理解します。英語で発せられた言葉がどんな意味をもつのかわかった瞬間です。

本校は、ユネスコスクールとして ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）を推進していくために、英語教育に力を入れ、全学年でイメージ学習を実施していきます。